

法学部開設50周年記念号に寄せて

法学会会長・法学部長 田 中 裕 明

神戸学院大学法学部は、2017年4月開設50周年を迎えました。法学部の皆様のみならず、神戸学院大学のすべての教職員、学生、卒業生等とともにお祝いし、喜びを分かち合いたいと思います。

「神戸学院大学二十年史」によりますと、「大学設置の当初から法学部の設置を構想し」ていたとあり、大学開設後1年で法学部開設を実現し、「神戸学院大学は、総合大学、それも『後世に残る大学』を理念としてスタート」したのです。

法学部設置の目的ないし事由について、設置申請書の一部を抜粋しますと、「……国民生活の各方面において、国家社会に対する正しい認識を具え、国民生活の健全な発展に貢献し得る有意な人材が多数求められている。この社会的要請に応える為には、国家社会の骨格をなしている法律や政治の構造とその新しい動向に対する十分な研究を基礎とした教育を行い、法律・政治に対する正しい知識を習得した優秀な人材を多数社会に送り出す必要がある」と記されており、この趣旨に基づき新たな法学部の設置をしたのでありました。要するに、「複雑多岐に亘りまた高度かつ専門化する社会情勢に対応するために、国家社会や日常生活の基盤である法律や政治の構造と機能とを、正しく認識し、民主主義的諸原理を修練した優秀な人材を送り出すこと、これが法学部設置の趣旨であ」りました。

少々引用が長くなりましたが、それは、法学部の原点に今一度立ち返って、未来への指針としたかったからです。そして、この法学部設置趣旨の実現のためにご尽力くださったのが故大隅健一郎（元京都大学名誉

教授・元最高裁判所判事）先生と故田畑茂二郎（元京都大学名誉教授）先生のお二人です。このお二人の御力添えを以て、法学部は草創期から、他大学が垂涎するような学会の権威者と優秀な少壮とから成り立ったのでした。

大隅先生におかれましては、現在ポートアイランド・キャンパス図書館に記念文庫として「大隅文庫」が設置されております。それは、大隅先生の御威光を未来へと伝える法学部の誇りでもあります。

発足から半世紀経った法学部が今後どのように成長し、どのような社会的評価を受けるか。それはひとえにスタッフの双肩に懸っていると云ってもいいでしょう。これまでの半世紀は先輩諸先生方が学部への土台を築き、それぞれの専門領域における不断の研鑽と学界への貢献をし続けてこられた半世紀であったわけです。後に続くわれわれも、さらに精励するべきことを自覚すべきでありましょう。

最後に、初代法学部長であられた故尾上正男先生の「神戸学院法学」第1巻第1号の「発刊のことば」に寄せられた「おことば」を紹介しておきます。

今日の大学で、大学人に教育者たるべき自覚と努力が特に要求されるからといって、そのために大学人が研究者であるための努力を怠ってよいということでは、まったくない。大学人が、すぐれた研究者であらねばならないということは戦前、戦後の大学をつうじての変わらない大学人の姿であろう。

私自身、自戒すべきメッセージとして、深く受け止めておきたい「おことば」であります。どのような時代になろうとも、大学に携わる者にとっては、不変のメッセージであると思われます。

スタッフ一同、学部・大学の発展のため、次の50年を迎えるため、さらに努力を重ねていく所存であります。